

学年	小学校4年
教科	算数
単元	がい数を使った計算
目標	目的に応じて和、差、積、商を概数で見積もることができる。
つきたい力	場面に応じて見積もり方を使い分けすることができる。
教材・問題のアイデア	<p>教科書と同じ品物をカードで作り、実際に買い物をする場面を設定した。</p> <p>切り上げたり、切り捨てたりをどのような場面で使ったらよいか実感させるため、「〇円しかお金を持っていない。」や「〇円以上買うとくじが引ける。」などの設定をして買い物を行わせた。</p>
成果と課題	<p>(成果)</p> <p>〇カードではあったが、実際に物を買うという行為を行うことで、児童らの関心が高まった。</p> <p>〇様々な場面設定に応じて「切り上げ」「切り捨て」のがい数の仕方があることを、実体験と共に学ぶことができ、この計算がどんな時に便利なのか、気付くきっかけになった。</p> <p>〇買い物をしたいという意欲が計算をたくさんしなければという意識につながった。</p> <p>(課題)</p> <p>△買い物をする時間を捻出するのが難しい。 (他の計算の時間を削るため、計算機を用いた。)</p> <p>△くじを引くのにばかり意識が向いてしまい、「〇〇未満の場合は切り上げでがい数にして計算する。」ではなく「くじを引く場合は切り上げでがい数にして計算する。」という覚え方をしていた児童がいた。</p>